



鹿屋市立 高隈中学校

生徒数 38人
学級数 5クラス



《テーマ》 自他を敬愛し合って友情を深め、偏見や差別を許さない態度を育成し、人権意識を高め、助け合い協力し合って生活を築き上げていく精神を養う。

研究に当たって（テーマ設定の理由）

小規模校の特性を生かし、意欲的に学び共に助け合う生徒を育成することを通して、全員で助け合い協力し合える人間関係を築くことを目標にテーマを設定した。

研究スケジュール

- 県教育委員会の講師招聘による研究
5月23日(月) 職員研修「人権同和教育(1)」
10月3日(月) 職員研修「人権同和教育(2)」
12月5日(月) 生徒対象の講演会「人権教室」
- いじめ問題を考える週間(4月・9月・2月)と毎月の学校生活アンケートによる生徒の変容の分析

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

- 人権作文発表会・・・「人権」をテーマに、原稿用紙3枚程度に自分の考えをまとめた。5月の学年発表会で代表を選出し、6月に校内発表会を行った。代表以外の生徒は、それぞれの発表についての感想を書いた。
- 人権標語作成・・・生徒会活動の一つとして、7月に全校生徒が人権に関する標語を作成し、玄関に掲示した。また、地域の学習発表会の展示部門にも出品した。
- 人権週間(12月4日～10日)の取組
人権学習講演会・・・3年ごとに地元在住の市川健一氏を講師として招聘し、北朝鮮拉致問題に関する講演を行い、他の年度は人権に関する講演を行うよう計画している。
横田めぐみさんに関する映画視聴・・・全体版アニメ、短縮版アニメ、ドキュメンタリーを3年ごとに計画的に視聴している。



【校内人権作文発表会（6月）】



【人権学習講演会（12月）】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 人権作文への取組と生徒会を主体とした人権標語作成を同時期に行うことで、生徒の人権への意識が高まり、日常生活における言葉遣いや他人への接し方を見直すきっかけになった。
- 今後は、あらゆる場面で自分とは違う考え方を共有できるように、構成的グループエンカウンターや道徳を通して、人権意識をより高めたい。